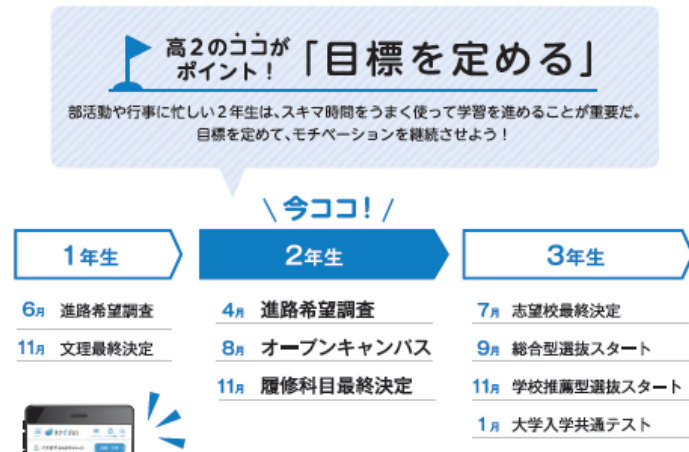


48期生のみなさん、進級おめでとうございます。2年生になるにあたり、新しいクラスで緊張や期待、不安な気持ちでいっぱいかと思えます。

2年生は部活や学校行事が一番忙しい一年です。めいっぱい楽しんでほしいし、頑張ってもらいたいですが、同時に学習面もおろそかにすることなく努力を続けてほしいと思っています。この「進路だより」では、ひとりひとりの進路実現のために、「今」になが大切なのをお伝えしていくものです。楽しく忙しい学校生活のなかで、この進路だよりの読む時間は自分自身としっかり向き合っ、毎日の学習習慣を見直すきっかけにしてもらえればと思います。

進路実現に関して、2年生での大きな目標は「**進路の具体化**」です。一言で「進学」と言っても、多くの学問分野があり、学部、学科があります。10月～11月には3年次の選択科目を決めますが、そのためには自分の進みたい方向を具体化することが重要です。専門学校や就職を考えている人は、来年の今頃には志望先が決定してははいけません。しっかり自分自身を見つめて進路実現に向けた取り組みをしてください。



◎夏休みまでに考えてみてほしいこと、取り組んでみてほしいこと

① 大学を選ぶ前に学部を選ぼう

1. 「大学で何を学びたいのか、学んだことを生かして将来何をしたいのか」を考える
2. 「学びたい分野」の決定
3. 「学びたい分野につながる学部・学科を探し、その学部・学科のある大学」を選ぶ
⇒3年の選択科目(10月頃)は、大学で学ぶ際に必要な科目、入試に必要な科目、専門学校で学ぶために必要なもの、社会人として身につけたい知識、自分の興味関心に即した科目を選択する

② 入試問題に挑戦してみよう

入試問題の多くは高校2年生までの範囲から出題されています。2年生で解ける入試問題があり、まさに今授業で学んでいる内容が出ています。今解ける問題の解法を定着させ、今解けない問題を今後どう理解していくかを考える良い機会です。

1. 各大学別の過去の入試問題集 通称「赤本」⇒志望校の問題傾向がわかる
2. 大学が出す前年度の入試問題集＝模範解答を作問者や予備校が行っている
3. 公務員試験問題集 就職用問題集を解いてみる

③ 模擬試験を積極的に受験しよう

校内ではスタディーサポートが行われます。また1月には初めての校内模擬試験が行われます。それ以外にも予備校等の行う外部会場での模擬試験を受験しましょう。会場の雰囲気や解答の時間配分など、本番の入試を疑似体験することができます。全国模試・看護模試・公務員模試・就職セミナーなど、外部の情報を得ることも有効です。模擬試験の案内は随時進路だよりでも紹介します。

④ オープンキャンパスに行こう

夏休みや冬休みを利用して必ず参加してください。そのために今、オープンキャンパスの日程を調べて予定に入れておきましょう。入学後のミスマッチを防ぐためにも、賑やかで楽しいだけではなく、具体的なカリキュラムや費用など、分からないことがなくなるまで学校に聞いてください。また、イベント以外の日常の大学を訪れると、その大学の「素顔」を見ることができます。また各校のホームページも年々見やすく充実していますので、行けない場合でもWEB上の情報を入手するようにしましょう。

高1を振り返り、高2の目標を考えよう!

1年生のときは、計画的に学習できましたか。充実した毎日を送ることができましたか。この長い春休みも、毎日無駄にすることなく過ごすことができましたか。

「ギクッ」とした人。きっとあなただけではないから大丈夫です。

まずは裏面にある高1の振り返りと高2の目標を記入してみましょう。

2年生での家庭学習時間は2時間を確保するのがベストといわれています。毎日計画的に学習ができている人はこの調子。2時間に満たない人、日によっては学習をしない日がある人は今日から学習を習慣化しましょう。

毎日の習慣はハードルが高すぎると挫折してしまいます。「歯磨き」程度のハードルの低さで、毎日続けられるもの、そして疲れた時も忙しいときでも必ず続けると心に誓えるものにしましょう。

例:毎日英単語を10個覚える。毎日数学の問題を2題ずつ解く。

「継続は力なり」です。毎日の習慣を、2年後の武器にしましょう。

あなたの「今日からはじめる毎日の学習」は?

高1を振り返り、高2の目標を考えよう!

1 高1の学習・生活を振り返ろう

学習面で力を入れて取り組んだこと、
成長したと感じること

学習面でやっておけばよかったと
思うこと

生活面(学習面以外の活動、部活など含む)で
力を入れて取り組んだこと、成長した
と感じること

生活面でやっておけばよかったと
思うこと

2 高2の目標を宣言しよう

この1年間の目標
(挑戦したいこと、やり抜きたいこと)

目標達成に向けて、
具体的に取り組むこと

↑ 記入して、毎日見えるところにおいておこう。